牛島土産

中

208
3
140

帝國圖書館藏

国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140

ガラス使用

国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140

ガラス使用

国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140

ガラス使用

申ノ卯日附

正天	三百五十七、	八天	一、十三、廿五、
二天	九、廿一、	八	七、十九、
三	三、十五、廿七、	九天	二、十四、廿六、
四	十、廿一、	十	八、廿、
五天	五、十七、廿九、	十天	三、十五、廿七、
六	十一、廿三、	十一天	九、廿一、
七	六、十八、		

新吉の年三十五の夏の頃の事なるべし。其角の句集に、きらびやかなる者はいふもおろかなれど、姿容きさも町もおしなべて化粧ハ名ゝ香を焚く仙女香ばかりなりけるに、ふと社頂人のあぐらよりイヨ甘くとかの匂ハ彼李園桜の杜鵑花さすが又八代目の真ゝ夏の夜と、いつの頃ハ亀井戸へ咲る牛蒡直こと大京橋より名高き花本氏の門の流れハ五ゝもすぎるち女中方はる野の仙女香の公白粉と粧ひて、岩崎の侯ハ、こらんと奇と姿の変る仙女の姿極上く無比花切の俗ハ、ふくらんと奇と姿の妙なる仙女の出初ゝ花の利目とゞ拳を刺ひて三扇束髪がりの高島屋の堂ゝ上とする卯の月附こそ花井戸の大和屋へ出でゝ牛よりそうする丁子車の外ハ、そして益移島廿七ゝ余年の表ゝ花の美麗の白粉ゝ東都の戯作者 南仙笑楚満人 ㊞

江戸 瀧亭鯉丈 著

地ゝ紙ゝ紙ゝ紙

のようなるから。ロイ燒まもれく 地「どうもうまく
のようなるもむづかしの事ばかり言葉質と取
てゝ。きつぱりお後がでぬ。未れく 純「ハア。言葉が
質イとゝろでも孫上が。小僧どのゝ子どのゝことと
ごろ。ヨーいとゝもちいまれくが。豆人の言葉が
大山ゝもまく。蒼海ゝもまく。深ゝと書物
でもひいてあつてとゝろで。どうもハア。学文まる
と。かくして人まどゝりイ。知恵みたいテ 地「ほまら

孫上が言葉ばかりのゝで。大言葉よ深ゝの高ゝのと。
ゝの文がみゝるものゝ。そゝやゝのゝが。今のゝとゝ出
まゝるく 純「へゝ。そゝまゝきのゝ。かくゝゝ知恵
よ 地「どうもこんゝが早春込ぶけ不案内ゝ。ハア
ゝそんゝゝ。仕掛けとゝて遊ぶ。今に来る附ゝ
僧「左ゝゝ。ゝゝ時分でゝゝまゝ。小豆
とゝ箕くゝまゝ。棚へあげて遊ぶ世ゝ 助「ゝゝ
又ゝ我ホ。ゝゝく出ゝて見せゝ。ゝゝ 純「ぜんゝゝそんな

夏ごら。早くコトよ。後合さろうあやまべいく。銅
板ごの小豆ごのと。愛あつあぎどすむことごよ。
地「ハテ雨ごの雷ごのよ。仮ろうの音があろうノ
純「あるとも。さるるごら。コトしもハア。かれそこのう。
ものろうイ。あろうとも。男八行くが。今度ごそ
ろ夏ど。もぐで智がうある者ハ當意即妙ととって。
仮夏よろうず。第夏狐へうるむのサ 地「又くの
ものんご。大おぎろいつごどでろるるひ行く
あろうく 僧「さろうあサ。純「仏が狐へうんご呼ごけの
夏ごと夏でごごろませう 純「あのとろごごろ必夏
ろごの知る所ふあろご。まず雨のふる音とさせる夏。
撥掏ごうきとあって。障子の紙と。そろョりくと
ろごろが仮ろう一ごんろんべ夏ごろまく 地「ハテ
成ろるごこと夏ハあろうとなる考ごさく紙ごも隅
夏あろ夏れくコく 小僧「エて長サ仮とする。ナゼつき
側しと 純「ヘンこたちくあろこんでいろ真中く出ろ

国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140

ガラス使用

国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140

ガラス使用

のゞ　地「エて之を茶碗と。けらゞゝと。ア之をでろろ
めつこと。わめらをも志れゝゞゝ。そこで雷ハまこどう
いつあんゝゞ　純「まづ雷のゑゞきことろ　するめハ。
エて番紙が一番ゞ子　地「ハて志ゝゞゝとどふとろのゞ
純「志ゝがことろうのサ。モノ五月のせうき幟へ
風の歯ろ所ら。ユ風とつけこんゝゞ　小僧「りりゃく。
地金とあろうとゝゝと。折角雨でハ志番志めこと
めつこと。雷でゝるとこゝゝと　純「ナゼく。　小僧「志ゼと

いつて。ゑんゞ張居さんゞ。身ゞ志へとろて。番紙と
グワサく。のこ甘このゞ。何の雷とおもふの。紙
ゞ藤返りとするのゞと。思つてのゝゝア　純「志ゝエ藤
返りと志ころて。何かゝるもの志ゝゞすゞ。どふ
いつたゞこで。馬の志ゝるの志ゝる変ゝあるゞ。ゝゝハア。
芋でゝ。エラ。喰志ゞゞこ時のゝゞゝゞ　小僧「志ゝこゝゝと
雷の音ハ志ゝ後くゞ種畳職の志ゝハ志ろといつのゞ。
純「ナゼく　小僧「まゞこゝろゝれハ。貴こゝゝの蒲ゝハ

し。あこどの下の 純「あるとの園ぶ雲宮のもで
どふーと 僧「てんとく 純「ア引もふいくハ氏ぶ
僧「ろうつとろう 純「ア引外受ろまい 地「ハハ。
純「あんまりろうろれくらんざ。ちやアいくぶまづ
氏ろうまハ。見拾さ女の工風ぶえべ名ぶ。こまみやた
純双ぶのぶ理の歯前とおもひまんテ 地「ナゼヨ
純「氏ぶらいろぶら。ちらちの手毎重至極ろまど
僧「たとと おぶうーく。ろうらいく直とろまくべろう

ぞ 純「ろんでも見那ぶ不理風ぶえべ至 地「ナゼと
いろ 純「ナゼとろて。ヒーぶいろ通り紙ですまば
かとろアとまいのべ工ぶ洞板でば。かれ いろとろとる
ら見あく。モシ 地「ハアア純双も。おいうとぶうけろナ
氏順ハぶいぶ晒屋ぶ上ろて来ると見 純「ろ小ナ
こまとろ名のろハ昔ろら。後ハハあるまくぶ近来
だうさ病気塩梅あんべ工で。晒屋ぶ内ふーていろ所と氏氏
ちとーとろて来ると呼き 小僧「ろくおぶういへ

絶「髪結どのう 僧「ハア 覚へこナ 絶「おつうまをば
人家へあづけるつもりぢ 地「ハヽヽわんこ。でくぶ今
風の婚礼形ばかりあげくこと 絶「あやまることぢらのあら
ざらよ。モノ水牛細工で。あ国の品物やで奪ました
地「アうつとふい。モウいくハ。どを世仕業出ろくな
変ちの出これく。サアく支度よかろうく。一助
やく。ヲヤ名のうたるくとあて。いろふぢゼ。ヲイぢ
まぢ。そそ居るのハ ピン「ハイぢまもあやません。猫と

ちとく。ふたりで居ますた 地「ハア。猫めハ
用ハ移へ。まめくそそで雨と参あてたそこを。
愛で嬉てりたそこ ピン「モウハアとろくろうろう変ち
ちそまくこぶ。まづ絶ん。あてたまうりや
大変が知ると知ーますゾ。ト 地「やく
姉ぢく。ちどくろうてきくこぶ。サア絶女も
小僧もちやくのうそ。あてたろヨ 僧「ハイ。サア
絶女ぢん。あるぢ世へ 絶「アイ。んぢく 地「よやく

国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140
ガラス使用

うごき始きとする内ぐ「サアくもやく来
降止
降ハア雨がぐーるくるくこバモウハア降止
みやアるう降へ　小僧「ど助どん雨とゆめハ降
めでハ降止ぐ　ピン「降ぐぎらよ。モノ。富士の山ぐん
ぐでハ。降のことあるとゆうらぐとゆうこと
たいるのこと。降ハ降るとゆうてもくハ　地「コレく。
叮嚀
そんなゆうこと降へ変ゆう。早くゆうて見れくら
ピン「ハイ。小僧どの。洞へぐぐ。早くゆうて降へくら。ア

あくこと降へ降ゆうくるくして仕舞ゆくハ　地「まアく
生ぐらう始ゆうくく　小僧「純双どん。貴様のピカく
ぐさぐぐゼ　純「旦那さんそふいふ仕組ゆう子　地「そふぐ
く雨がバラく。ドウッとゆうと。そこでピカくとゆう
のぐ　純「ゆうく。ゆうてゆうて見せませう。サア　ピン「一
双どの雨へゆうく　ピン「ソレ始メル　雨の音バラくぜゆう
純「そこでゆうてピカく　地「ゆうぐピカく
いハ　純「ヨット。ぐピカく　地「エ。見ものぐピカく

斗やでよ　純「ピカ〳〵　地「あちこち口でのみ。ぐ
ぶ参用なことゞゾ　純「そなたでもおめくさる。きなる
ぞや。のこせてのらうみやや。あくまり上ぐ級ぶれく
地「ハテサ上ぐの呑込ぐ口でピカ〳〵ろこと。稲
妻とまりのものこを続く編の必分うとのぐ
純「ヘエ、そなたこそ。そなたでのまづ積イ。とうて来やや
ぐうう行く。ア　ふそりうぐらまちろく　地「ヤレく
まぐかぐこと。多編も持行のろ。いやたや不義者

みどとく。あなぐ。ろうてゆろう。そこ不居とく
純「そんならちやくとうてとこ〳〵ぐの　狂「のけ
ぐろの純めぐナア　ヒン「そのよあんまり且那ぐ
あらの　純「十二ハア。奉公人でも且那ぐ。義通のと
でハ。ろの半ウてもたなぐ行く。義よ上下のへぐそく
ぐのとのうぐハ。書物よ知て。のうら　狂「ヘン義
もくのそなぐ。ピカ〳〵ぐらの何の義ぐ行ぐある
めの　地「イヤく　まづ〳〵義こ〳〵てのそ。ピカ〳〵

ソレとおのくあんだらぐ。そりゃ向へ先とかきこいぐ
ろう 純「ろうそどいくあんべ。そぐ。ろうーあんまりぞぶ
さうこの紙くれるぐ 地「サア あるこ不奉公へ行ている
からくまめくらち嘆くあって嘆ろせや ピン「ヨイ 純
なぐのまあ燈イ。美くんせてんをさろせ。モウ
ぶのくくろう。 僧「どーこのぐ ピン「あぐぐぶ
ぶけ紙くとろうろう結ぶへちぐそている。小僧ぐの
もそそらくとかき寄せてんぐせん 僧「ヤレ奉公

中ぐ小僧くろけぐ 地「サアくくたやく始くくト
ろ厨子表の戸をトンく 地「ヤアくモウ本ぐもくく 贈ぐとて
ハ居らまれ。あくれく真ぐ 僧「何サ戸きえ明紙
ろまぐ。這ぐらまれくろう。明ぐおぶおそ。ぶてまぐ
せうう 地「どーてくく表くも嘆くろう。ぶてまぐ
る真ぐ出来紙くく又表をトンく 隠居「コレ小僧ヤイ 僧
地「ハイくコレ明てあげ紙くろう 隠居「まぐ日も暮ま
きら紙くの、然ぐこの、 地「イエくまぐ嫌ハイ

国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140

ガラス使用

国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140

ガラス使用

ません。コレサ。ばんこずす。上く明てあげろく。番 地
めどん。ちろと明ケきろせ。ナ 地 小僧ホどろよ
いつけらえそうごく男ろ。ピン「めんどうごろ。三人
狐けんでいくべエ 小僧「よろろうく。ものろまい。一人
勝ごく 地「おのまくく。ザアこいく 三人「コ。シャンく
又ちとと ドンく 地「コレサ。まごあけ狐へのろ ピン「ハイ 今まけ
まくこ 地「明てきそそす。狐めんど ピン「ほサ
今まけまくころら。甚ら明る所さ 又おとと 隠居「コレ

おらさずと。ちろくあけトあの舞へ見 隠「エろ引
ぶろうさそる。小僧ろ ピン「イくエ 隠「ハア。ビンダナ
あのつぎ 地山「コレハく 山隠居さん。ようのろのあの
まくこ。サアくこちらへく 隠居「ちろ 真さま 今日ハ
ぶんらぎろふくしくおがいのこんる時。
エテおえぶ変とろくいろそいこ時なのごテ
地「ごろてあまくさんとろくやませう。危角
邪さいごろこまろ。ちろく愛おそ

国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140

ガラス使用

国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140

ガラス使用

るきさい　限「イヤ、まだそこへ行けぬ夏がある。そこ
と雪深く　地「こまかまく人のうちへ這入りく
雪深く　限「うんみやヨ。今ハ若い者がそこへ
くるとこまる夏が流れるそふだらう。あまり流
行よりこまる夏が流れるので。そこで参りてそこの
たまるのが遠ひまさ　限「どちらもこの長ご
かつ。よろうとやつて。マアくうえまろ。いつて
とうう　地「そうるきさいまー。ヨイ小僧や。お茶で

もいまろよ　小僧「あまえきれもあんまり
きびがきろれく　地「なぜく　小僧「そこへ大きな夏とる
さろるとこのよ　地「なぜどふしてこのご　小僧「どふ
ちろさどやどござりませんハ。今仕組んごゴロく
と。やうのでどざりませう　地「そこよ　小僧「そこうち
ちとー達ぶ内よりつのでハ。ろうござり
ませう。ピン双人居て。紙ハとうとうハ。どこへ
ぞ使よ行こハ夜ハかくうぬとこの本通ぶ宮

まとぶ。ぐらぐらぐらぐら。ピカくくの時。本とふの男ひとすめく地「なのサそまとハきまづうのハ行く。そーてまぐ
ぐらと後の夏ぐらもまとぶいく時ずらハ行ハ翌ハ
早く明ぶみらら。今夜ハもやく。寝るぐらひと
りてこ人ぐら寝所へ行くゆて仕事ものあぐ
さーしりひらて。なのら物さーくもつと
ちて。源居ちもらく写ふとあの時ふ
まとぐ後ぐらいとちかう。まめくもハ白

川夜ふのつりで。あちもの嫁ぐらら。そう
とぶちらて来て。ぐらくと降ちぐめるとふ
ぐらでいく。僧「へエて白川夜ふみとハぐふ
塩梅よ歩行ちすのぐ子。地「歩行ちぐ
雲ふ前ぐちもず。寝ちの夏と。白川夜ふ
とのハ。僧「へエて寝ちらとて居て嫁ぐ
とちらて来るのぐ子。そまでハぐのぐらふ
ちぐらぐ世ら。地「そのまと通り紙ぐや。ドン助ぐも

国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140
ガラス使用

国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140

ガラス使用

不間とゆつねくもうよ。ようく言込せて来てゐいぜ
僧「なくそんとでハ。ようてすもちつと。陽居さんよ
用ゐあるから今のうち用ゐをすとてうどの。地「何を
の用ゐ。僧「アノ陽居きんハ子。あとでもいろくな
名儀や伝授ごと。ようくきつてのますそんぢう。
ようてゐぢまーてこんな世てハ年ときつてサ
地「きゐ名儀をんぞハ。めつてあハ。おつくめぜ。僧「な
ふサ。今夜ハちつときうらハずよ。氣ぐんとゐくく

用ゐとゐてもきまをとうまーつておきゐ。
くとおつくゐてハ来ますハ。なんても覚えてきえ
ますぐ。モウ後とおます取くゐをゐ変ゐ繁ぜ
ようてハまゐ。二年ようくれふまりますうら。
ようのどきりまん。地「そやちがくれくそのよ氣
ゐら。今夜ハいつものようさうふずよ法華経
とゐておくゐ。笑ようくトンくく。小「と
僧ぐのぐハ伝授とうけうゐ。ゐぜ受

させて　ピ「さうまー」　小僧「紙屋
百ようのとまる役引ぐ」　ピ「あるがとふこと」　純「ゆ
まーの見くあの丑ぐ」　小僧「ゆまーの
変ぐあるものろどの世純夜ろんぞぐ。出来ろ変
でバ稼くらら　純「小僧ホぐよ出来ろ変と。ろぐる
出来ぎらよ　地「そうやァ　ゆくらちぐ争ちちも
そーまられく理屈ぐらろ。ろんでも張居さんの
技婦ととらでてんぐよ　ピ「笑ふぐらく

地「ぐまとぐ　ピ「ハイとでぐさろ。　地「ゆて
用ろ　ピ「小僧どのや純次どのも。傍役ろけます
ろらぐどふぐとてーみも。受させてでぐろ
地「ゆと　ピ「ろんぐろ表ゆまーれへぐ。ゆまーろ種
ふもろぐき変ぐと吹ます　地「さんろぐ歌
ぐろくあらぐチナ　おーーあるとも何ぐろ表れへぐ。
小僧「ゆの傍役ぐ　小僧「ろんぐろとでも紀ます
地「そうやァ法まられへぐ。ぐ　今ぐ張居さんが

国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140

ガラス使用

来さうくらゐ来るぞ　僧「それもいまるぞ　雪深で　地「とよーて　雪深で　地「ろ　僧「窪てゐい　地「ろ　地「ろ　地「ろ

ぞと　僧「そりやく　地「そりやく　地「そりやく　地「そりやく　地「そりやく　地「そりやく

居る　地「どうして　地「そりやく

マジとちらくおいでうきこのまま　張「いまきて　小僧

ゆうあるとでもつけ行とう　僧「そりやくまま

お世話　地「ホンニ　地「燈とつけ

てもいくぶの間くうろ　絶「どうみう　次ぐちでも

ろ行とバのくぶ　張「何べらぶう　次ぐ　次ぐ

ろ　地「ろ　地「ろ　地「ろ　地「ろ　地「ろ

ろ　地「ろ　地「ろ　地「ろ　地「ろ　地「ろ

うち先生　俗「雷さま　雷さま　雷さま　雷さま　雷さま

国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140

ガラス使用

ども。いくさんらう子 張「ナニサ。こいつでい延へうとど。川先
物ものだ。もう。先生せんせいといつて厄呼とがさせると。
いつよりるめのだ。なづ生せい。気張ッけるる人ひとや。
見てゞく見る人ひとゞ。先生せいこの。賓人ぐゞと
いつのよ 僧「へエかをるりさゝも人ひと子 張「エラ〳〵
七ちんどうる。そんる夏ばどうでもいハ。迷もてる
たちふハらられく 小僧「何。ふらられく夏すどり
ませんが子。り〳〵先生せいといつるばいく地ぢ狸

まゝ〳〵ふらう子 張「うんとふのゞ 僧「先生せいでいけ
ふろ。ゾリや又へそゞッ 張「うんのおりろくれく更
ふりろ茶でもさやくいまろ 小僧「ふると茶の僧
ぐゞ。ついぞ口文が茶もけも買ふと夏もる
つて 地「又そんるめくまま口ふと吸ふ。ふめくゞア
今夜ハ出源居ませんよ。ふろ。ゞど上ますとふくれく
でハ。ふろれく答ぐゞ 小僧「ヤアろ
んふそふでぐいま
ふろ子 張「ナゞく 地「イエサ。ふ僧めゞ。何ふあまく

国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140
ガラス使用

きんうぶくておらひとなぶあるとゆて楽ん
でおるとまーこのケ 張「ハテ小僧何と覚えるえご
小僧「氏あのごおまへさんが何らいろくるる傍授る
とゆて居らるとおらちやくこ夏サ 張「ふ引何ら
牛蒡の傍授ら 地「へエ牛蒡の夏でごぎりまん
ら。あまたやいろくぶぶらしい屬のあるす
でごぎりませう子 張「何ふ豆腐とちがつて。こい
そふしぶらしい夏も絡ら。先人と早くおぶす

ぶ河貫蕨萩もも外社海棠ろんどら。こで
ぶけるとこちやもちおまろ夏ぶ。そまとと十日も
背も挑ぶこーこて。おるふるまるえ
ぞぶ。てア傍授サノ。おらーそまとと覚えこと生
よふとおられへでぶ夜よ豆めテ 地「左程芋。そまと
も小僧。おらふ。ぶこと夏ぶあるら 小僧「へエ海苔
おらふとぶまん地「ハテそまぶおるおらえぶ。
まめへのようるさーでものぶ。よく今とたあつで

国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140
ガラス使用

居ごナア　小僧「ヘンそれハ昔ゝらいふ通り。絵あ
書ハつめとかくまた。牛島嶋ハ無とかくすと
いふことへの通りサ子　地「フンイ。ちつとあることゞよ
の書ゝて。地ぢまで持ごまハ。そんゝらゝハ伊藤と
ゝゝゝこと　僧「むゝ千ノ利久ぶたゞめことゝて
張「ハア千家ゝ　小僧「ナニそんゝゝ気のわく病ひハ
ござゝません　張「病ひの真でハ狂く花よ千家
又ゝ千家古流。ゝゝごとゝいふぶあゝく　僧「ゝゝでも

ゝゝ千ノ利久ぶたゞめことゝて。利久流
とゝことそふぶ。ませよゝゝゝてござんく花とさ
ゝゝこと中夏で。今でハ利日流とゝまゝ　地
又小僧ゝ四ひ流ゝゝ。ゝゝあゝふゝらゝざゝら。
ちつとハ流ござゝませゝゝら。傳授ゝとゝく
つゝゝゝまゝ

[下ノ巻へつゞく]

滑稽牛嶋土産中之巻終

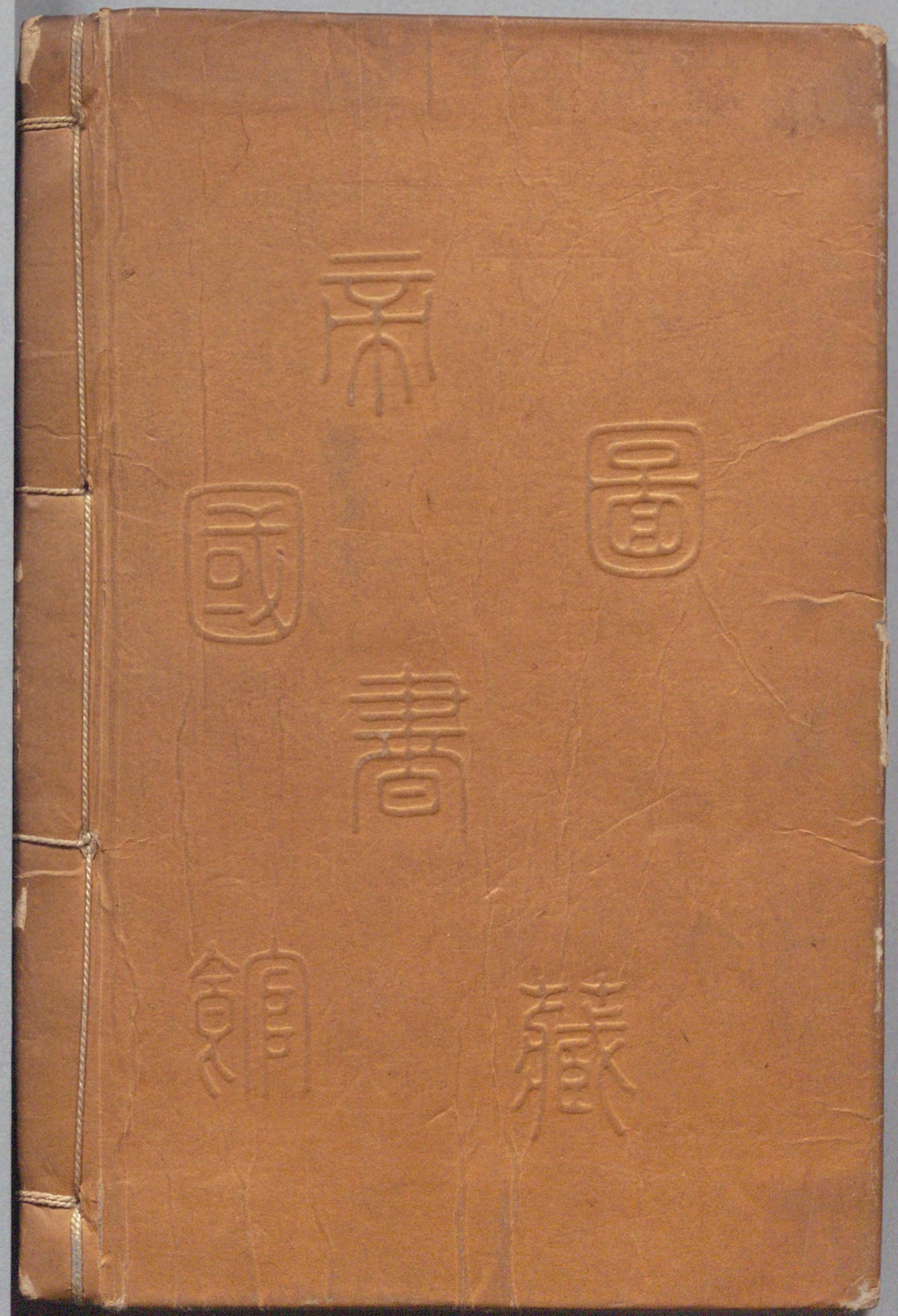
雲龍亭

国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140
ガラス使用

208
3
140

国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140

ガラス使用



国立国会図書館　牛島土産 3巻 208-140

ガラス使用